

船橋 YMCA 通信



No. 103 2018年7月1日

〒273-0825 船橋市夏見6-6-6 日本基督教団船橋教会内

電話：(047)425-6366 F A X：(043)222-5061



千葉YMCA定期総会

一般財団法人千葉YMCAの2018年定期総会が6月9日(土)に千葉センターで開かれました。

総会は、出席22名、委任状による出席64名の合計86名で、総会構成員136名の1/3以上の出席があったので成立しました。

総会では、①2017年度事業報告及び収支決算報告並びに監査報告、②2018年度事業計画及び収支予算、③常議員選出の3つの議案が審議され、いずれも原案通り承認されました。



《事業報告をする廣田総主事(左)と

総会議長をされる中村潔常議員会議長(中央)》

総会の議事終了後ボランティアリーダーへの委嘱状交付が行われ、中村議長から6名の出席リーダーに委嘱状が手渡されました。



《委嘱状を受けた6名のリーダー達》

リーダー委嘱に引き続き、チャリティーラン益金を用いて15名の障がいのある子どもたちを招待した「ほっこり、にっこり、わんぱくキャンプ」の報告がなされました。このキャンプの詳細は前号を御覧ください。

総会の第3部として、「私たちは何をすべきか・何ができるか」と題して、東北ヘルプ事務局長の川上直哉氏(日本基督教団石巻栄光教会牧師)が、被災地東北の現場からのレポートを話されました。川上氏は、これからは被災者の生業と支援の両立が必要であると強調されていました。



《講演される川上氏》

障がい者理解体験教室を3回開催

2018年の6月に合わせて3回の障がい者理解体験教室が開催されました。

6月1日の塚田小学校では4年生181名が車いす体験および視覚障がい体験を行いました。

ご協力いただいたボランティアの方々には、日本車椅子レクダンス協会(矢車草)のメンバー10名、ボランティアサロンふなばしのメンバー5名、塚田地区社協及び夏見地区社協のボランティア5名、ボランティアセンターのスタッフ2名、千葉介助犬協会のスタッフ2名と千葉YMCAのボランティア3名でした。



《塚田小の車いす体験の様子です》

車いす体験は、介助される人と介助する人を交互に経験したあと、一人で車いすを操作する自走体験も行います。

今回は、千葉介助犬協会のスタッフ2名と介助犬のPR犬1頭が参加して、介助犬ができることをデモンストレーションしました。



《介助PR犬が床に落ちた500円玉を拾います》

6月22日の三咲小学校では4年生131名が車いす体験と視覚障がい体験を行いました。

ご協力いただいたボランティアの方々は、日本車椅子レクダンス協会（矢車草）のメンバー8名、三咲地区社協のボランティア3名、ボランティアセンターのスタッフ2名と千葉YMCAのボランティア3名でした。



《三咲小の車いすダンスの様子です》

6月28日の飯山満小学校では5年生132名が車いす体験と視覚障がい体験を行いました。

ご協力いただいたボランティアの方々は、日本

車椅子レクダンス協会（矢車草）のメンバー7名、ボランティアサロンふなばしのメンバー4名、飯山満地区社協のボランティア5名、ボランティアセンターのスタッフ2名と千葉YMCAのボランティア4名でした。今回は、船橋市をホームタウンとするプロバスケットボールチームの千葉ジェッツの選手3名が特別参加してくれました。



《飯山満小の視覚障がい体験の様子です》

視覚障がい体験は、アイマスクをして介助者の手の腕を軽くつかんで白杖を使って歩きます。

“ふなばし市民まつり”

今年の“ふなばし市民まつり”は、7月28日（土）に船橋市本町通りで開かれます。

船橋YMCAは、ジョイ&ショッピングフェアフリーマーケットに参加しますので、みなさん買い物にお出てください。

今年のチャリティーラン

今年の千葉YMCAインターナショナル・チャリティーランは、10月13日（土）に船橋市運動公園で行われます。

船橋YMCA活動記録

船橋YMCAの5月、6月の活動記録です。

- ・ 5月17日（木）千葉YMCAビジョン委員会
- ・ 5月26日（土）チャリティーラン実行委員会
- ・ 6月1日（金）塚田小障がい者理解体験教室
- ・ 6月9日（土）千葉YMCA2018年定期総会
- ・ 6月22日（金）三咲小障がい者理解体験教室
- ・ 6月28日（木）飯山満小障がい者理解体験教室

編集後記

障がい者理解体験教室に介助犬やプロバスケの選手が参加するなど賑やかになってきました（槇）